

令和5年度天使大学同窓会オホーツク支部の「集い」が終わりました。

令和5年11月吉日
天使大学同窓会オホーツク支部
支部長 北中 順子
山畑 陽子

朝夕と冷え込みが強くなってきました。
今年の秋は気温の高い日が多かったようですが冬の足音は少しずつ聞こえてきています。
冬支度は進んでいらっしゃいますでしょうか。

10月15日、秋晴れの好天の中、同窓会の集いを無事終えることができました。
今年は総勢16名の参加で、天使大学同窓会の宇野郁子副会長は札幌より、また小清水町や遠軽町からもご参加いただきました。そして5歳のみつきちゃんもおばあちゃんと一緒に来ていただきました。

今回は北見産のリンゴを使ってのアップルパイと、オリジナルのサンドイッチを作りましょうという内容でした。参加された皆さんは色々なお話をしながら作業を進めており、それぞれに個性が溢れた作品が生まれていたような気がします。アップルパイはオーブンの温度調整がうまくいかなかったのか、、、出来上がりが少し残念な仕上がりになってしまい申し訳なく思っております。

食事をしながら、参加された皆さんに自己紹介や近況報告をしていただいたのですが、ひとりひとりのお話を聞いていると、学生時代が蘇り、時の移り変わりも感じました。
何より皆さんがお元気でこの場所にいらして下さったことに喜びと感謝を感じた瞬間でもありました。
皆さまの中で「同窓会の活動というのは“協力をする”という事なので、何かがある時はまず参加する」という話をして下さった方がいらっしゃり、とても印象に残っています。

そして宇野郁子副会長より、同窓会の動向や藤大学の今後のことについてお話いただきました。直接お聞きする機会ができてとても良かったと思っています。初めてお会いした感じは全くなく、話も楽しく聞き取りやすく笑顔の眩しい同窓生のお一人でした。



今回ご参加いただいた方を代表して、1名の方に感想を伺いました。

去る10月15日の天使大学同窓会オホーツク支部の集いでは、アップルパイとサンドイッチ作りで、楽しく美味しく参加させていただきました。私は栄養科H10年卒業で、昨年初めて参加させていただきました今回で2回目でしたが、参加者皆様の笑顔がいっぱい溢れる素敵な同窓会、というのが一番の印象です。卒業生一人一人が母校への愛情と誇りを持ち、それぞれ卒業年度や学科が違って、また私のように昨年初めて参加した新参者に対しましても温かく受け入れていただき、ここにきてやっと!?天使大学の「愛と真理に生きる」(私の短大時代はまだ「愛をとおして真理へ」ではなかったと記憶しております)を実感しています。

今回ご一緒だった天使大学同窓会副会長の宇野郁子さんもお挨拶の時間にお話しされていましたが、支部のつどいのしおりには、出席欠席も関係なく沢山のメッセージが寄せられています。近況報告、お互いを思いやる気持ち、再会を楽しみにしている思い等を読んでいると、紙面上であっても同窓生の皆様や幹事の皆様にとって、元気をもらったり、励みになったり、とても素晴らしい交流の場になっていると思いました。

また前回はホテルでの会食でしたが、まだまだ気の抜けない感染予防対策にと、マスクや除菌シートの詰め合わせをご用意くださり、今回もアップルパイを持ち帰るフードパックにはレースペーパーが敷かれ、サンドイッチを食べる時にはランチョンマットにスープや飲み物まで。日々の忙しさに取り紛れつい忘れがちな「気配り」「気遣い」を感じて、常2に学びと気付きがあります。幹事の皆様、いつも企画やご準備等ありがとうございます大変お疲れさまでした。そして同窓生の皆様とまたお会いできる日を楽しみにしています。

(栄養科H10年卒 水谷 成子)

今年は早い時期からインフルエンザの流行が始まっています。コロナウイルスもまだまだ気の抜けない状況です。これからの季節、風邪をひかれませんように、雪道で転びませんように・・・厳しい冬を乗り越えましょう。

また次の機会、お会いできますことを楽しみにしています。

心も身体もお元気でお過ごしくださいませ。



少しですが、当日の様子をご覧ください。



9月の下旬に販売所をオープンした頃の篠根果樹園さんのリンゴの木、
5歳のみつきちゃんが頑張って作ったサンドイッチの写真です。おいしそうに出来上がりましたね。



